

(5)小児がんの進捗状況について

項目	内容
平成30年度の活動計画 及び今後の検討課題等	<p>(1)研修教育:看護研修会の継続実施。地域内研究会・講習会の継続実施(別紙参照)</p> <p>(2)情報連携:地域内がん相談支援室との連携による機能拡大。兵庫県がん・生殖医療ネットワーク事との連携によるAYA世代がん患者の妊孕能温存処置の拡大・促進</p> <p>(3)がん登録:専任職員を用いた地域がん登録の継続実施。</p> <p>(4)緩和医療:緩和医療チームの活動促進、緩和ケア講習会の受講率向上。</p> <p>(5)がん地域連携パス:小児がん拠点病院及びがん拠点病院間のがん地域連携パス実施状況の調査</p> <p>(6)医療連携</p> <ul style="list-style-type: none">・小児がん拠点病院・小児がん診療病院との連携会議・TV会議・兵庫県立神戸陽子線センターとの連携 <p>(7)臨床研究:JCCGを中心に計画されている国際臨床試験への積極的参加: ASIA DS-ALL2016試験</p> <p>小児悪性腫瘍に対する陽子線治療の観察研究の実施</p> <p>(8)AYA世代(高校生)の教育支援</p> <ul style="list-style-type: none">・高校生に対する院内学級設立に向けた基盤整備・ボランティアなどを活用した高校生に対する教育支援事業の実施 <p>(9)国際協力推進事業(平成29年度医療技術等国際展開推進事業(NCGM事業))</p> <p>開発途上国における小児がんの診療効力強化として日越小児がん診療従事者の交流・促進</p> <p>(10)院内学級在籍者へのスポーツ・文化活動の提供 7月21日 (Being ALIVE Japan事業)</p>

小児がん等サポーター検討会のご案内

～小児がんサバイバー等移行期サポート体制に向けて～

近年における医学の進歩により、小児がん及び小児難病は長期生存が可能となりました。しかし、患児が成人に達しても小児科医が診療を続けているケースが多く、成人移行期への支援体制の整備が急務となっております。

本検討会は、小児がん及び小児難病の現状と課題についてそれぞれの立場からのご講演、と総合討論により、地域の医療関係者の皆様と一緒に成人移行期への支援体制を作ることを目指すものです。実際に小児がん及び小児難病に携わる小児科医・内科医だけでなく、関係医師・他職種・行政の皆様にも多数ご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

1. 日時：平成 30 年 3 月 31 日（土） 14:00～17:00
2. 会場：兵庫県医師会館 会議室（神戸市中央区磯上通 6 丁目 1 番 11 号）
3. 参加費：無料
4. 対象：小児科・内科等医師及び関連職、行政担当者
5. 内容 1) 開会挨拶：兵庫県医師会副会長 足立 光平
2) 講演
座長：神戸大学医学部附属病院腫瘍・血液内科教授 南 博信 氏
①小児がん治療の概略
講師：神戸大学医学部附属病院小児科特命講師 森 健 氏
②小児がん治療の晩期合併症と移行医療
講師：愛媛県立中央病院小児医療センター長、患者支援室長
石田 也寸志 氏
③小児がん経験者フォローアップの課題～内科医の立場から～内分泌代謝異常を中心に
講師：神戸大学医学部附属病院糖尿病・内分泌内科准教授
高橋 裕 氏
④(仮)小児難病の成人移行期対応について～難病サポートの立場から～
講師：兵庫県立尼崎総合医療センター院長代行 平家 俊男 氏
3) 総合討論
座長：兵庫県立こども病院小児がん医療センター長
小阪 嘉之 氏
パネラー：講演者及び南 博信氏、足立 光平
6. 主催：兵庫県医師会、兵庫県がん診療連携協議会、神戸大学 7 大学連携個別化がん医療実践者養成プラン
7. 申込方法：参加ご希望の方は、別添申込用紙に必要事項をご記入頂き FAX (078-231-8112) にて 3月16日(金) までにお申込み下さい。

神戸陽子線センター照射小児例(兵庫こども病院入院例)

照射済 7
(脳腫瘍3 肉腫3 神経芽腫1)
うち要鎮静2
化学療法併用5

照射中 9
(脳腫瘍4 肉腫1 NHL1 MPNST1 肝芽腫1 神経芽腫1)
うち要鎮静3
化学療法併用4

近く照射予定 6
(脳腫瘍4 神経芽腫2)
うち要鎮静5
化学療法併用3

小児がんの診療について

厚生労働省健康局
がん・疾病対策課

第1回検討会において指摘された小児がん診療に係る課題

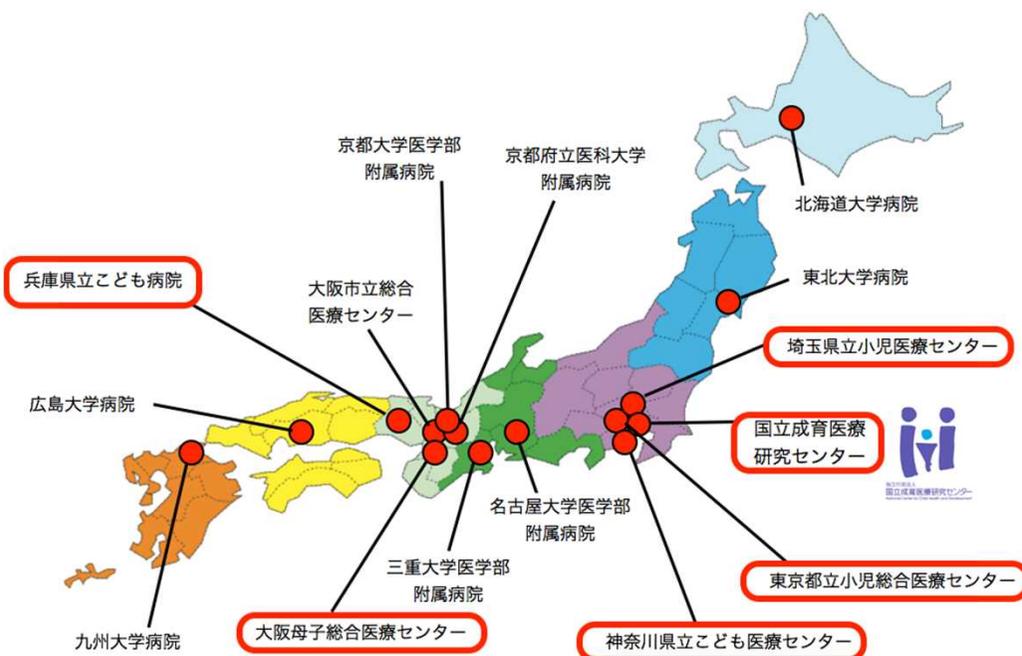
1. 均てん化が可能ながん種や、必ずしも高度の専門性を必要としない病態については、小児がん拠点病院以外の地域の連携病院においても診療が可能な体制が必要である。
2. 小児脳腫瘍等、十分に集約化されていないがん種の診療については、小児がん拠点病院と小児脳腫瘍等の専門施設との連携を進めると共に、診療実績等を公開し集約化を促進する必要がある。

地域の病院との連携について

1. 均てん化が可能ながん種や、必ずしも高度の専門性を必要としない病態については、小児がん拠点病院以外の地域の連携病院においても診療が可能な体制が必要である。

小児がん拠点病院

15歳未満の小児がん患者は年間2000~2500人の発症があり、そのうち約40%をカバーしていると考えられる。



各ブロック協議会参画の小児がん診療施設は、総計142施設ある。

小児がん拠点病院の整備に関する指針について(案)

- 小児がん拠点病院と連携して小児がん医療を提供する医療機関のあり方について検討してはどうか。

I 小児がん拠点病院の指定について

3 厚生労働大臣が指定する拠点病院は以下の役割を担うものとする。

- (7) 自施設が小児がん医療及び支援に関して、優れた機能を有するのみならず、小児がん診療に携わる地域の医療機関と連携し、これらの医療機関の診療機能を支援すること。

以下の内容を追記してはどうか。

また、地域の小児がん診療を行う病院を小児がん診療連携病院(仮称)として指定すること。

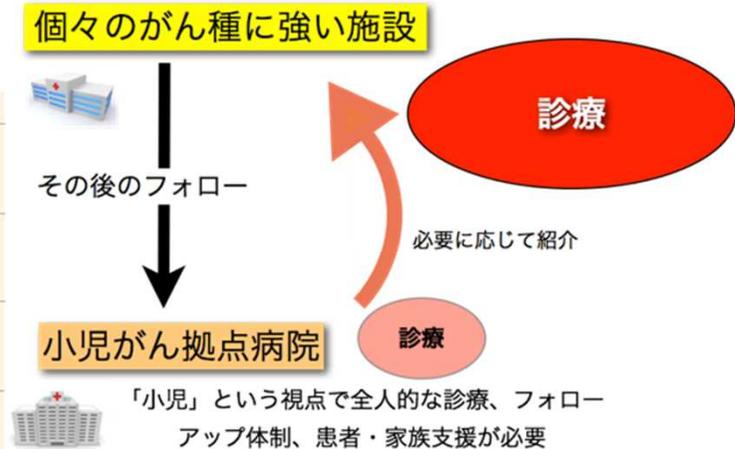
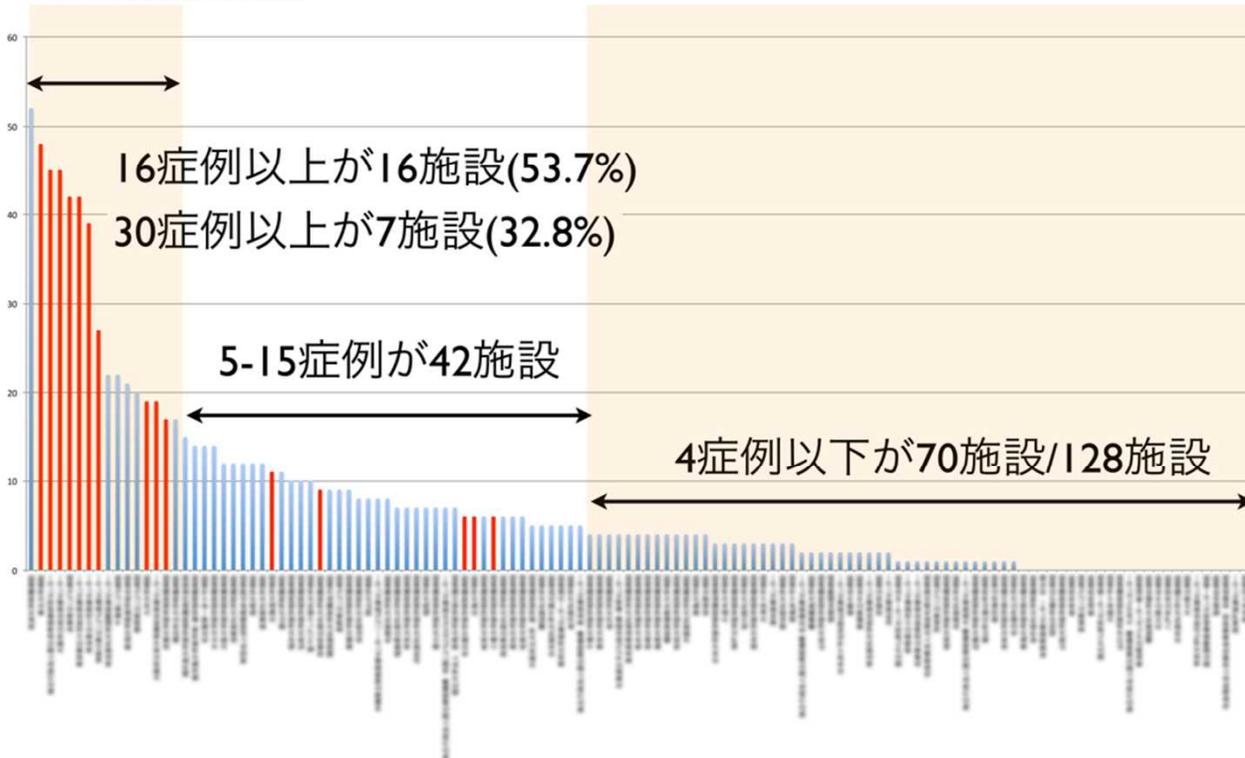
十分に集約化されていないがん種への対応について

1. 小児脳腫瘍等、十分に集約化されていないがん種の診療については、小児がん拠点病院と小児脳腫瘍等の専門施設との連携を進めると共に、診療実績等を公開し集約化を促進する必要がある。

日本小児血液・がん学会 疾患登録 2013-15年集計より

脳脊髄腫瘍の診療状況

*注：症例数は2013-15年の総和



- 各医療機関が専門とする小児がんについて、小児がん拠点病院との連携について検討してはどうか。

I 小児がん拠点病院の指定について

3 厚生労働大臣が指定する拠点病院は以下の役割を担うものとする。

- (7) 自施設が小児がん医療及び支援に関して、優れた機能を有するのみならず、小児がん診療に携わる地域の医療機関と連携し、これらの医療機関の診療機能を支援すること。

以下の内容を追記してはどうか。

なお、小児がん拠点病院は、小児脳腫瘍等、専門性の高いがん種についても適切な治療が提供できるようにするとともに、地域においても適切な支援が可能となるよう、地域性を考慮し小児がん診療連携病院(仮称)を指定することが望ましい。

小児がん拠点病院の整備に関する指針について(案)

- 小児がん拠点病院と連携する医療機関の診療実績について情報を公開してはどうか。

II 拠点病院の指定要件について

1 診療体制

(4) 診療実績

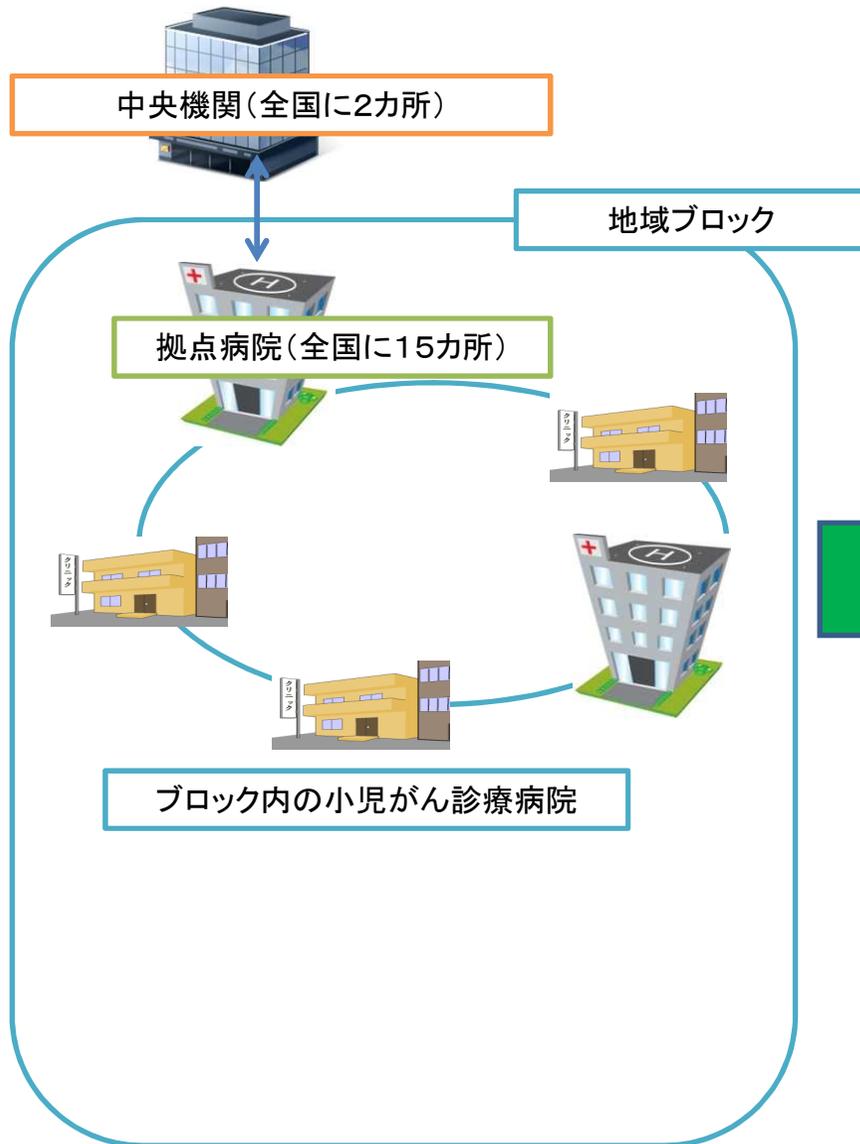
- ① 領域別の小児がん診療機能、診療実績及び医療従事者の専門とする分野・経歴などを、わかりやすく情報提供すること。

以下の内容を追記してはどうか。

また、小児がん診療連携病院(仮称)の診療実績について把握し、わかりやすく情報提供すること。

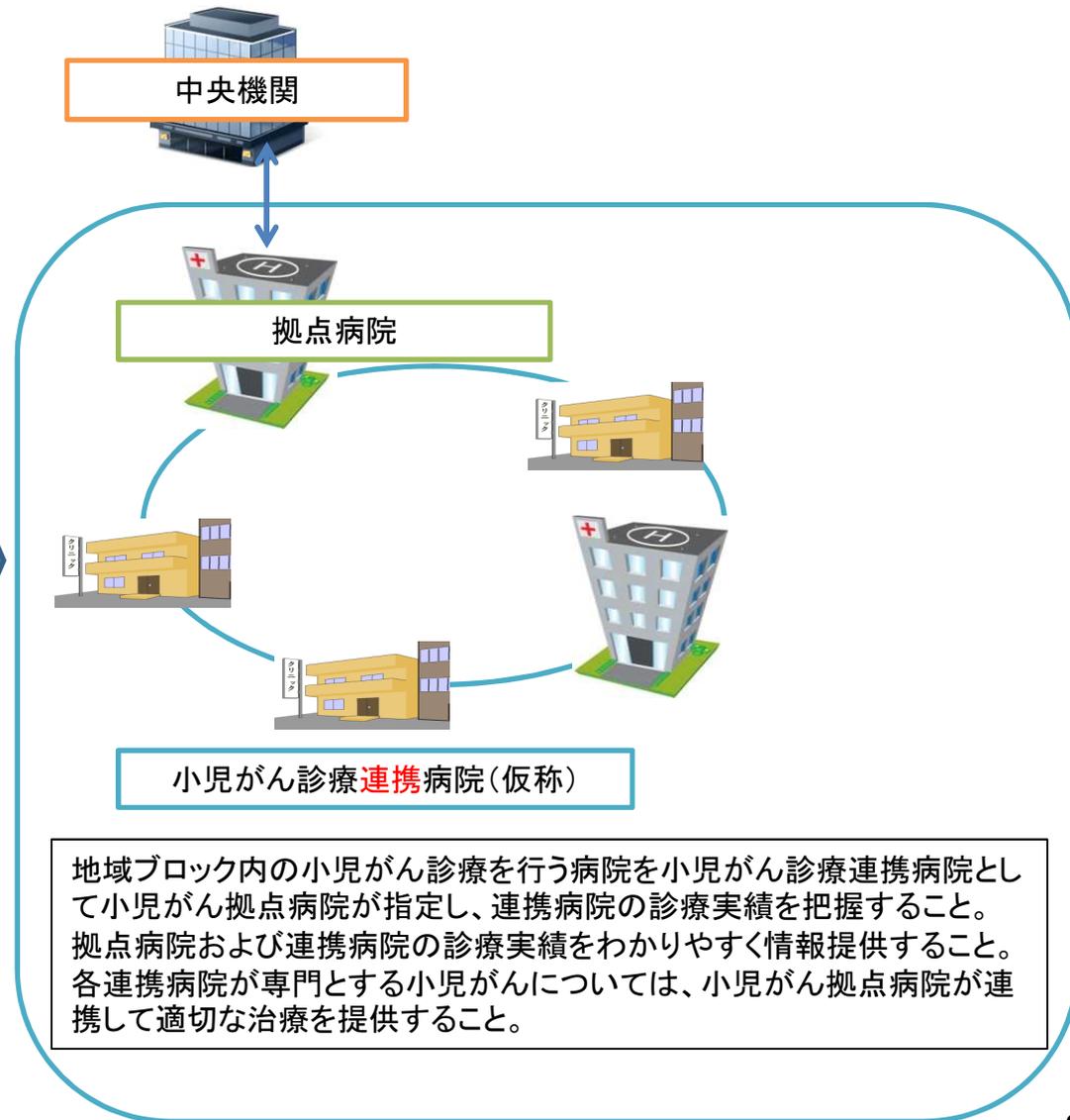
小児がん医療の提供体制の将来像(案)

現行



将来像

※平成30年度中に厚生労働省が小児がん拠点病院の指定



平成30年度 兵庫県立こども病院「小児がん看護研修」開催要項

I. 日程

1. 基礎：平成30年7月7日（土）10:00～16:30（受付9:30～）
2. トピックス：
 - ①晩期合併症と長期フォローアップ：平成30年8月18日（土）13:00～16:40（受付12:30～）
 - ②終末期看護：平成30年10月13日（土）13:00～16:40（受付12:30～）
 - ③補完代替療法：平成30年11月10日（土）13:00～16:00（受付12:30～）

II. 会場

兵庫県立こども病院 講堂
〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町1丁目6-7

III. 目的

1. 小児がん看護に必要な基本的知識を習得し、主体的に実践できる人材を育成する。
2. 近畿ブロック・近隣ブロックにおいて小児がん看護の連携を強化する。

III. 対象

- ・兵庫県下の連携病院、訪問看護ステーションの看護師
- ・近畿ブロック、近隣ブロックの小児がんを診療する病院（拠点病院を含む）の看護師
- ・兵庫県下のがん相談員、教員

VI. テーマおよび内容

別紙プログラム参照

V. 参加費

無料（交通費、昼食代は自己負担）

VII. 申込み方法

別紙申し込み用紙または、必要事項を明記の上 FAX もしくはメール（携帯メールは不可）でお申込みください。
基礎編、トピックス①②③それぞれの申し込みの受付とします。

- 【応募期間】 基礎編：4月23日（月）～6月15日（金）
トピックス編：① 4月23日（月）～7月19日（木）
② 4月23日（月）～9月13日（木）
③ 4月23日（月）～10月11日（木）

受講受付について葉書でご連絡いたします。受講日の1週間前までに受講票が届かない場合は、お問い合わせいただきますようお願いいたします。研修当日は受講票をご持参ください。

研修の申し込み後の欠席につきましては、研修前日の16:00までに担当者（看護部 谷本江利子次長）までに連絡いただきますようお願いいたします。申込者の交代はできませんのでご了承ください。

また、トピックス研修任受講後、学びをもとに所属施設で取り組み、成果を発表する会を平成31年2月28日（木）午後開催いたします。参加を希望される方は、合わせてお申し込みいただけますようお願い申し上げます。会の詳細は後日ご案内いたします。

看護部、がん相談支援室、緩和ケアチーム主催
担当：看護部次長 谷本江利子
小児看護専門看護師・がん相談員 中谷 扶美

平成30年度 小児がん看護研修 基礎編

研修日時：平成30年7月7日（土）10：00～16：30（受付は9：30～）

研修場所：講堂

対象者：50名程度

- ・兵庫県下の連携病院、訪問看護ステーションの看護師
- ・近畿ブロック、近隣ブロックの小児がんを診療する病院（拠点病院を含む）の看護師
- ・兵庫県下のがん相談員、教員

研修目的

1. 小児がん看護に必要な基本的知識を習得し、主体的に実践できる人材を育成する。
2. 近畿ブロック・近隣ブロックにおいて小児がん看護の連携を強化する。

研修目標

1. 小児がんの特徴や最新の動向について知る
2. がんの3大治療の概論を知る
3. 小児がんの看護の特徴と役割について説明できる
4. 小児がんをもつ子どもの症状マネジメントについて説明できる

<タイムスケジュール>

時間	内容
9:30～10:00	受付
10:00～10:05	オリエンテーション
10:05～10:35	副院長兼小児がんセンター長挨拶 講義「小児がんの特徴と最新の動向」 講師：副院長兼小児がんセンター長 小阪 嘉之
10:35～10:45	自己紹介、研修参加動機の共有
10:45～12:10	講義「小児がんの代表的疾患と治療概論」 講師：血液腫瘍内科医師 石田 敏章
12:10～13:10	休憩
13:10～14:00	講義「小児がん看護概論」 講師：小児看護専門看護師 中谷 扶美
14:00～14:10	休憩
14:10～16:20	講義・事例検討「小児がんをもつ子どもの症状マネジメント」 講師：7西病棟 看護師長補佐 木下 めぐみ
16:20～16:30	挨拶 アンケート記入

平成30年度 小児がん看護研修 トピックス①晩期合併症と長期フォローアップ

研修日時：平成30年 8月18日（土） 13：00～16：40（受付は12：30～）

研修場所：講堂

対象者：50名程度

- ・兵庫県下の連携病院、訪問看護ステーションの看護師
- ・近畿ブロック、近隣ブロックの小児がんを診療する病院（拠点病院を含む）の看護師
- ・兵庫県下のがん相談員、教員

研修目的

1. 小児がん看護に必要な基本的知識を習得し、主体的に実践できる人材を育成する。
2. 近畿ブロック・近隣ブロックにおいて小児がん看護の連携を強化する。

研修目標

1. 小児がん治療後の晩期合併症と長期フォローアップについて知る
2. 長期フォローアップにおける患者の看護の特徴と役割について説明できる

<タイムスケジュール>

時間	内容
12:30～13:00	受付
13:00～13:15	挨拶 オリエンテーション 自己紹介、研修参加動機の共有
13:15～14:05	講義:小児がん治療後の晩期合併症と長期フォローアップ 講師：血液腫瘍・内科医師 神前 愛子
14:05～14:15	休憩
14:15～16:30	講義・GW：長期フォローアップにおける看護ケア 講師：神奈川県立こども医療センター 小児看護専門看護師 竹之内 直子
16:30～16:40	挨拶 アンケート記入

平成30年度 小児がん看護研修 トピックス②終末期看護

研修日時：平成30年10月13日(土) 13:00～16:40 (受付は12:30～)

研修場所：講堂

対象者：50名程度

- ・兵庫県下の連携病院、訪問看護ステーションの看護師
- ・近畿ブロック、近隣ブロックの小児がんを診療する病院（拠点病院を含む）の看護師
- ・兵庫県下のがん相談員、教員

研修目的

1. 小児がん看護に必要な基本的知識を習得し、主体的に実践できる人材を育成する。
2. 近畿ブロック・近隣ブロックにおいて小児がん看護の連携を強化する。

研修目標

1. 終末期にある小児がんをもつ子どもと家族の看護について説明できる

<タイムスケジュール>

時間	内容
12:30～13:00	受付
13:00～13:15	挨拶 オリエンテーション グループ自己紹介
13:15～16:30 (休憩を含む)	講義・GW「終末期にある小児がんをもつ子どもと家族の看護」 講師：高知大学医学部看護学科准教授 松岡 真里
16:30～16:40	挨拶 アンケート記入

平成 30 年度 小児がん看護研修 トピックス③補完代替療法

研修日時：平成 30 年 11 月 10 日（土） 13：00～16：00（受付は 12:30～）

研修場所：講堂

対象者：50 名程度

- ・兵庫県下の連携病院、訪問看護ステーションの看護師
- ・近畿ブロック、近隣ブロックの小児がんを診療する病院（拠点病院を含む）の看護師
- ・兵庫県下のがん相談員、教員

研修目的

1. 小児がん看護に必要な基本的知識を習得し、主体的に実践できる人材を育成する。
2. 近畿ブロック・近隣ブロックにおいて小児がん看護の連携を強化する。

研修目標

1. 小児がんをもつ子どもの補完代替療法について知り、演習で実施できる

<タイムスケジュール>

時間	内容
12:30～13:00	受付
13:00～13:15	挨拶 オリエンテーション グループ自己紹介
13:15～15:50	講義・演習：小児がんをもつ子どもの補完代替療法 “きもちいいケア”の体感—マッサージを中心に— 講師：社会福祉法人芳友 にこにこハウス医療福祉センター 教育課 課長 三宅 一代
15:50～16:00	挨拶 アンケート記入